

御殿堰が導く山形400年の心：
雪国山形に欠かせない“がんぎ”の共有空間を今再び市民の憩いの場として



撮影：2011年6月（山形市七日町・御殿堰）

◆地域活性化の力で再び開水路に

山形市は蔵王山系より流れる豊富な水によってできた扇状地です。市街地を網の目のように流れる「山形五堰」は山形のシンボルです。がんぎの付いた木造建築内には、創業110年の呉服店とともにデザインショップもあります。新しい水路と両側通路までは山形市が整備し、小砂利を敷いた共同建築前の共有空間は民間の力で“半公半私”の場をつくりました。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）